

# 第 397 回 地 震 調 査 委 員 会 ( 臨 時 小 会 議 )

## < 目 次 >

- ◆ 房総半島沖のスロースリップイベント (2024年2月～) ..... 2

令 和 6 年 3 月 1 日



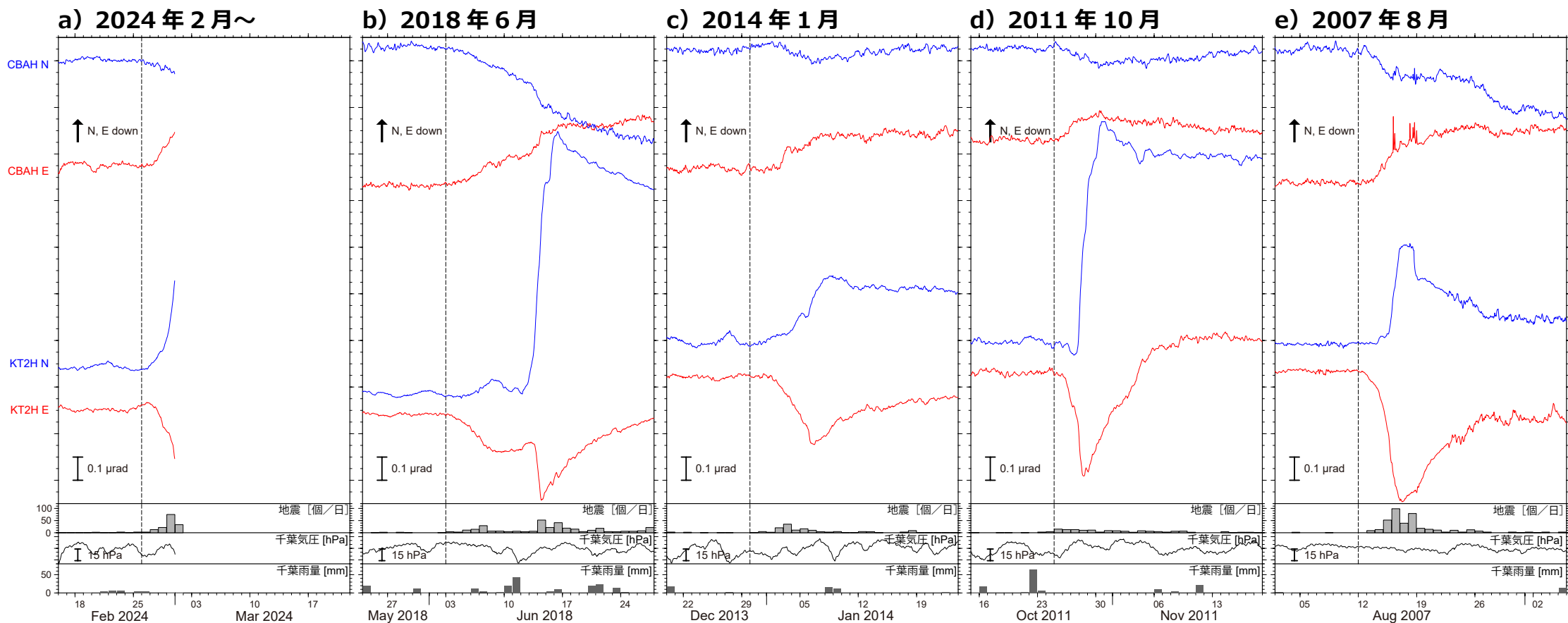
国立研究開発法人

**防災科学技術研究所**

National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience

# 房総半島沖のスロースリップイベント (2024年2月～)

- ・房総半島沖の群発地震活動と同期した傾斜変動を観測
- ・2018年6月 (M<sub>w</sub>6.5) 以来約5年8ヶ月ぶり



**図 1** : a) 2024年2月16日～2月29日の傾斜時系列。上方向への変化が北・東下がり傾斜変動を表し、BAYTAP-Gにより潮汐応答成分を除去した。2月26日～2月29日の傾斜変化ベクトルを図2aに示す。房総半島沖での地震活動度・気象庁千葉観測点の気圧・雨量をあわせて示す。地震活動度は、Hi-netによる地震カタログ(自動処理を含む、3月1日の8時台まで)による。b)～e) 2018年6月、2014年1月、2011年10月、2007年8月の房総半島沖スロースリップイベント時の傾斜時系列。

謝辞

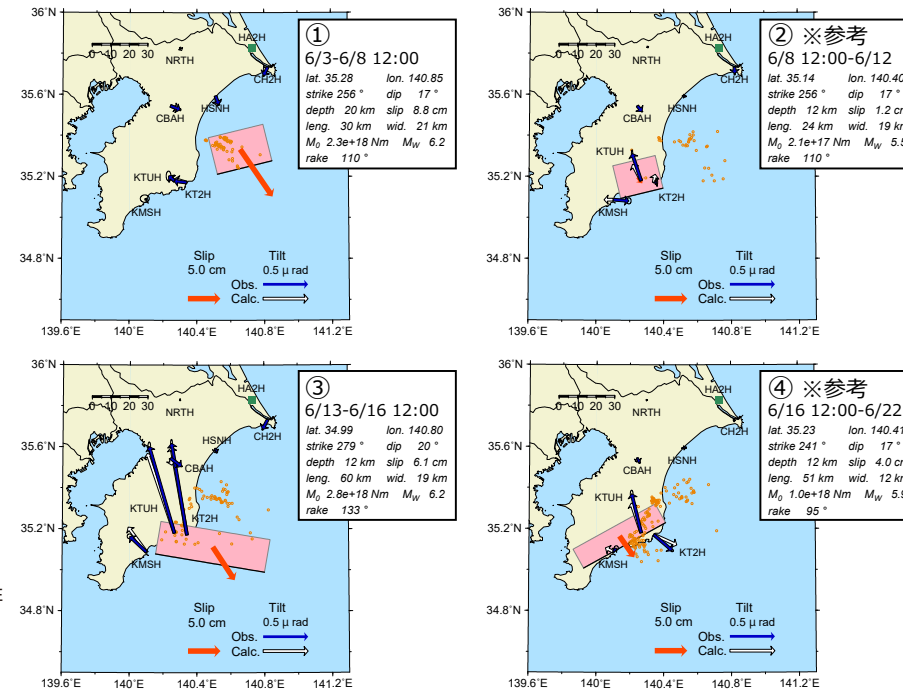
気象庁のWEBページで公開されている気象データを使用させて頂きました。記して感謝いたします。

# 房総半島沖のスロースリップイベント (2024年2月~)

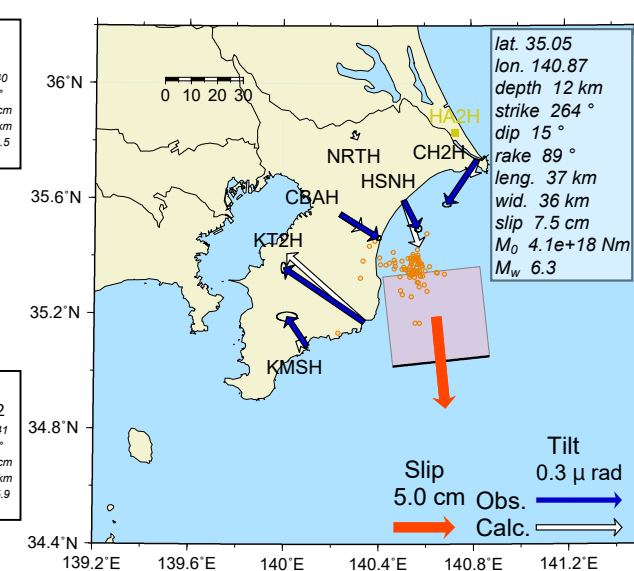
a) 2024年2月~



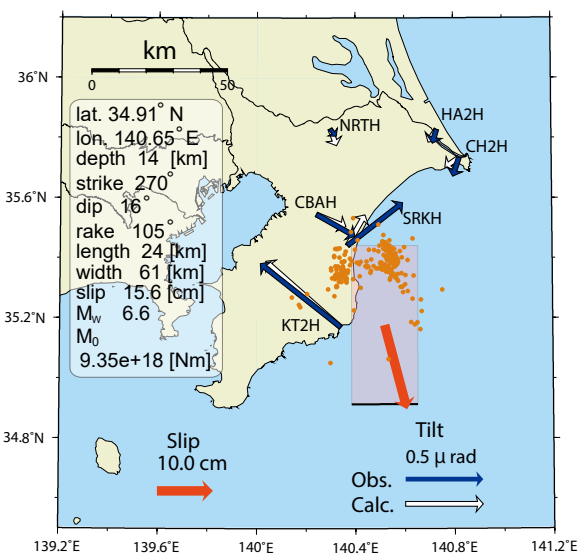
b) 2018年6月



c) 2014年1月



d) 2011年10月



e) 2007年8月

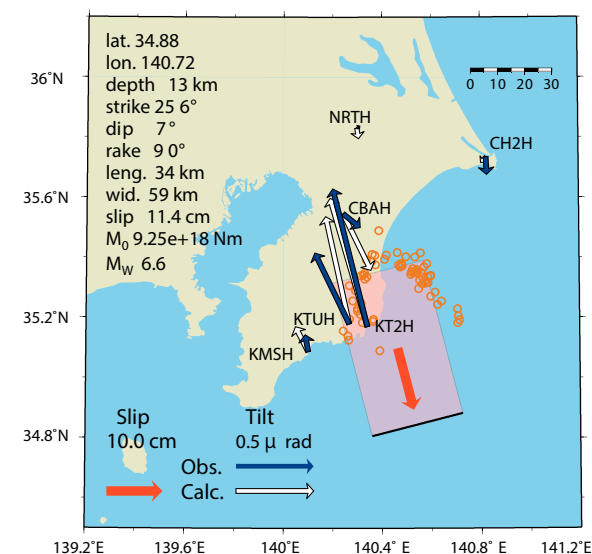


図 2 : a)2024年2月26日~2月29日の傾斜変化ベクトル (青矢印). Hi-netによる震央分布 (自動処理を含む, 3月1日8時台まで)を合わせて示す. b)~e)2018年6月, 2014年1月, 2011年10月, 2007年8月の房総半島沖スロースリップイベント時の傾斜変化ベクトルと推定された断層モデル。